

既存杭撤去に関する研究委員会報告書(2022年8月) 正誤表

整理番号 1-1から1-5まで:2022年6月30日更新 第2刷にて修正予定
整理番号 2-1から2-2まで:2022年8月31日更新 第2刷にて修正予定

整理番号	頁	訂正箇所	誤	正
1-1	4	D.【設計】	隔離距離	離隔距離 (p.129以降参照)
1-2	89	5.1.4 下から4行目	既存杭地下工作物の取扱いに関するガイドライン	既存地下工作物の取扱いに関するガイドライン
1-3	98	下から3行目	参考文献番号 1)	5.1)
1-4	114	図5.3.8タイトル	掘削孔の傾斜事例(掘削孔が低強度の場合)	掘削孔の傾斜事例(撤去孔の埋戻し部が低強度の場合)
1-5	120	図5.3.17	<p>図中の既存杭が消えている</p> <p>流動化処理土の残量 t 150mm 新設杭杭径 φ 1700mm 既存杭撤去径 φ 2300mm (全周回転式掘削機使用) 新設杭施工時ケーシング径 φ 2000mm (全周回転式掘削機使用) 150mm</p>	<p>図中に既存杭を表示</p> <p>流動化処理土の残量 t 150mm 新設杭杭径 φ 1700mm 既存杭撤去径 φ 2300mm (全周回転式掘削機使用) 新設杭施工時ケーシング径 φ 2000mm (全周回転式掘削機使用) 150mm 既存杭</p>
2-1	19	図3.1.2	一番上の「油圧ジャッキ工法」	「油圧ジャッキ引抜工法」
2-2	132	図6.2.2	$\theta = 2 \times \sin^{-1}(R/2L)$	Rの分母の2Lが4Lの間違い 正しくは、 $\theta = 2 \times \sin^{-1}(R/4L)$